



「地域とともに。Smile 和光会2030」 の取り組み



和光会グループ 秘書広報課 課長
和光会グループ SDGsプロジェクト事務局
SDGsアドバイザー（一般社団法人SDGs大学認定）

安藤恵子

和光会グループ SDGsコミットメント

和光会グループ SDGs の取り組みについて



地域とともに。Smile 和光会 2030



私たち和光会グループは、1925年の創業以来、岐阜の地域医療と介護、福祉、障がい、子育てに貢献すべく、様々な取り組みを進めてきました。

2015年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）は、和光会グループが「みんなを笑顔に。」の理念のもとに取り組んできた諸課題と重なり合うものです。

私たちは、これまでの取り組みをSDGsのフレームをとおして整理し、2030年のゴールを目指して地域とともに持続可能な笑顔あふれる未来社会の実現に貢献すべく、「地域とともに。Smile 和光会 2030」を定めました。

2020年3月1日

和光会グループ 理事長 山田 豪

グループ概要

創業

ヤマダ内科小児科医院（1925年）

医療法人和光会（1966年）

社会福祉法人和光会（1998年）

職員数

約1,600人

事業展開 エリア

岐阜市、北方町
本巣市、瑞穂市



医療・介護・障がい・子育て分野で
サービスを展開

事業所一覧

山田病院

(在宅療養支援病院, 113床)
一般 57床(うち地域包括 29床)
回復期リハ 56床

山田メディカルクリニック

(在宅療養支援診療所, 無床)

北方在宅クリニック

(在宅療養支援診療所, 無床)

指定特定相談支援(1ヶ所)

指定障害児相談支援(1ヶ所)

生活介護(1ヶ所)

児童発達支援(1ヶ所)

放課後等デイサービス(2ヶ所)

認定こども園(2ヶ所)

児童館(4ヶ所)

病児・病後児保育園(1ヶ所)

企業主導型保育園(2ヶ所)

地域包括支援センター(3ヶ所)

機能強化型地域包括支援センター(1ヶ所)

居宅介護支援事業所(3ヶ所)

通所介護(6ヶ所)

地域密着型通所介護(2ヶ所)

認知症対応型通所介護(4ヶ所)

通所リハビリテーション(2ヶ所)

訪問看護(5ヶ所, うち2カ所は出張所)

訪問介護(3ヶ所)

訪問リハビリテーション(3ヶ所)

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

(3ヶ所, うち1カ所はサテライト)

夜間対応型訪問介護(3ヶ所, うち1カ所はサテライト)

小規模多機能型居宅介護(5ヶ所)

看護小規模多機能型居宅介護(2ヶ所)

介護老人保健施設(超強化型, 1ヶ所, 100床)

特別養護老人ホーム(3ヶ所, 280室)

ケアハウス(1ヶ所, 50室)

住宅型有料老人ホーム(5ヶ所, 99室)

サービス付き高齢者向け住宅(1カ所, 30室)

認知症グループホーム(3ヶ所, 54室)

ショートステイ(2ヶ所, 20室)

みんなを笑顔に。

私たち和光会グループは、
質の高い医療・福祉・保健・子育てサービスを提供し、
ご利用者、ご家族、職員など関わるすべての人が、
いきいきと安心して暮らせる地域社会の実現をめざします。



外部研修受講・イベント参加

経営コンサル会社主催の研修（名古屋）
「中堅・中小企業の経営戦略と世界の潮流SDG s」

SDG s カードゲーム体験に参加（名古屋）

インターネット・マーケティングフォーラム名古屋2019
SDG s に関する講演を受講

事業構想大学院大学主催「事業構想セミナーSDG s の実践」を受講（名古屋）

SDG s カタリスト認定資格講座（名古屋）

SDG s アドバイザー認定資格講座（岐阜）

バックキャスト思考によるスケジューリング

ゴール	2020年3月	SDG s 方針のリリースとオリジナル冊子の発行
	2020年2月	プロジェクト活動報告会（SDG s 方針案を提案）
	2020年2月	プロジェクト会議開催 分科会での検討 ↔ PJ全体での共有
	2020年1月	SDG sプロジェクト発足 ミッションの確認 → SDG s とは？ → 分科会での検討
	2019年12月	全体会議でSDG s に取り組むことを周知。 プロジェクトメンバーの人選。
	2019年12月	取り組むべき目標を決定。
	2019年11月	和光会グループとしてSDG s に取り組む事を決定。

和光会が取り組む目標

和光会の事業領域（医療、福祉、子育て、障がい等々）は、まさにSDGsの取り組みそのもの



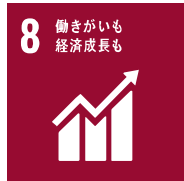
3.すべての人に健康と福祉を



4.質の高い教育をみんなに



5.ジェンダー平等を実現しよう



8.働きがいも経済成長も



11.住み続けられるまちづくりを



12.つくる責任 つかう責任



13.気候変動に具体的な対策を



17.パートナーシップで目標を達成しよう



和光会グループ SDGsプロジェクト



1月14日 SDGsプロジェクト キックオフミーティング

医師・看護師・介護福祉士・作業療法士・管理栄養士・保育士・通訳・など 25名

プロジェクトのミッション

和光会グループで取り組むSDGs方針を創るためのアイデアを出すと同時に、その推進役となる。

成果物

- 和光会グループSDGs方針案を作成する。
- これを周知するためのツール（冊子、研修用資料等）の開発。

質的成果

- 和光会グループで働く職員、患者さん、ご利用者さんはじめグループに関わる全ての人をSDGsの取り組みを通して笑顔にする。

学ぶべき内容

- プロジェクトメンバーに相応しい知識を身につける。
- SDGsの基礎知識を学ぶ。
- 推進役として自ら考え、行動する習慣・方法を身につける。

プロジェクト 分科会と担当

目標No.	目標タイトル	分科会担当部署
3	すべての人に健康と福祉を	医療事業本部、介護事業本部、秘書広報課
4	質の高い教育をみんなに	子育て支援課、育成研修課、海外事業部
5	ジェンダー平等を実現しよう	人事課、障がい福祉課、介護事業本部
8	働きがいも 経済成長も	人事課、育成研修課、海外事業部
1 1	住み続けられるまちづくりを	医療事業本部、介護事業本部、福祉事業本部 秘書広報課
1 2	つくる責任 つかう責任	総務課、医療事業本部、介護事業本部、 福祉事業本部
1 3	気候変動に具体的な対策を	総務課、医療事業本部、介護事業本部、 福祉事業本部
1 7	パートナーシップで目標を達成しよう	秘書広報課

和光会グループ SDGsプロジェクト

2020年

1月14日	キックオフミーティング
1月21日	第2回 分科会で取り組み項目の洗い出し
1月28日	第3回 分科会で取り組み項目の洗い出し
2月4日	第4回 分科会で洗い出した項目について 25日の分科会活動会に向けて まとめる作業 SDGs方針の名称の検討 寺田ガーデン祭でのイベントの検討
2月18日	第5回 中間報告会
2月25日	第6回 幹部に向けて各分科会からの活動報告
3月1日	和光会グループSDGs方針のリリース



和光会グループ SDGsコミットメント

和光会グループ SDGs の取り組みについて



地域とともに。Smile 和光会 2030



私たち和光会グループは、1925年の創業以来、岐阜の地域医療と介護、福祉、障がい、子育てに貢献すべく、様々な取り組みを進めてきました。

2015年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）は、和光会グループが「みんなを笑顔に。」の理念のもとに取り組んできた諸課題と重なり合うものです。

私たちは、これまでの取り組みをSDGsのフレームをとおして整理し、2030年のゴールを目指して地域とともに持続可能な笑顔あふれる未来社会の実現に貢献すべく、「地域とともに。Smile 和光会 2030」を定めました。

2020年3月1日

和光会グループ 理事長 山田 豪

地域とともに。Smile 和光会 2030

私たち和光会グループは、1925年の創業以来、岐阜の地域医療と介護、福祉、障がい、子育てに貢献すべく、様々な取り組みを進めてきました。2015年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）は、和光会グループが「みんなを笑顔に。」の理念のもとに取り組んできた諸課題と重なり合うものです。私たちは、これまでの取り組みをSDGsのフレームをとおして整理し、2030年のゴールを目指して地域とともに持続可能な笑顔あふれる未来社会の実現に貢献します。

医療・介護・福祉事業

地域のニーズに応える形で展開してきた医療・介護・福祉の各種サービスの質をさらに高めながら、シームレスに連携し、地域の皆さんが住み慣れた場所で安心して暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの増強に励んでいます。訪問診療・訪問看護・訪問介護サービスを含む、高齢者分野の社会福祉施設・事業所をほぼすべて網羅し、ご利用者の容態やご家族のご希望に合わせて柔軟に対応しています。重症者や看取りにも迅速かつ柔軟に対応した在宅支援体制の充実を図り、医療と福祉の総合力を高めていきます。



環境・資源対策

食品ロス問題に積極的に取り組み、災害用備蓄食材などの賞味・消費期限を細かくチェックし、不要な食材廃棄が起こらない工夫もしています。それらを昼食の食材として消費するなど、グループ内での食品循環を行っています。また、ペットボトルキャップを回収してワクチン支援を行う取り組みにも古くから参画するなど、環境・資源対策を積極的に行っています。今後も法人内照明のLED化の推進やエコマーク・グリーン購入法適合商品の購入促進などに取り組みながら、地域環境に優しい活動を行っていきます。



健康経営

和光会グループは、岐阜県で唯一の「プラチナくるみん」取得をはじめ、女性活躍推進法に基づく「えるぼし」、「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」の認定など、職員の支援に全力で取り組んできました。子育てや家族の介護、自身の病気療養など様々なライフイベントがあっても多様な働き方が出来るように、体制や制度を整備しています。LGBTを取り巻く課題にも目を向け、すべての職員が生きがいと働きがいを持って活躍できる場を整備し、心身ともに健康で、自身と家族、そして地域の健康づくりに貢献していきます。



人材育成

すべての子どもに質の高い教育と保育を提供する認定こども園を運営し、未来を担う子ども達の生きる力を育んでいます。また、職員のキャリアアップをハードとソフトの両面から支援するとともに、シニアや外国人材、障がい者の雇用促進、育成に取り組んでいます。介護人材の育成と環境改善に積極的に取り組んでいる証として、岐阜県介護人材育成事業者認定制度の最上級位「グレード1」を取得、自治体と連携して全県規模での介護人材の発掘と育成も進めています。



地域貢献

地域の皆さんが住み慣れた地域で安心して、未永く健康に過ごしていただけるよう、介護予防教室や認知症予防教室、フレイル予防教室などを開催し、健康の維持・増進に貢献します。地域清掃の定期実施や、祭事の開催、職員の地域行事への積極参加を通じた「まちづくり」にも継続的に取り組んできました。高齢者や子育て中の母親の孤立解消と居場所づくりの場として有効な「地域ふれあいサロン」「ひなたぼっこくらぶ」を開催するなど、古くから誰一人取り残さない地域社会の実現に努めています。



和光会公式キャラクター
なごみとひかる

和光会グループ



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



医療・介護・福祉事業



①地域包括ケアシステムの構築

－ 安心して住み慣れた地域で療養し続けられるシステム －

シームレスな連携

- 訪問診療に対応した医療
各種勉強会(山田病院、山田メディカルクリニック、北方在宅クリニック)を図っています。
- 高齢者分野の社会福祉施設・事業所をほぼすべて網羅し、ご利用者の容態やご家族のご希望に合わせて柔軟に対応できる福祉サービスの提供
- 高齢者向け社会福祉サービスの種類と特長を理解したケアマネジャーによる質の高い介護計画書の作成とサービス提案

②質の高い医療・福祉サービス提供のため、学び続ける和光会

- 医師・看護職・介護職・リハビリ職・ケアマネジャーらが集い、多職種による症例検討会や各種勉強会等を開催し、質の向上と専門職のスキルアップを図っています。

環境・資源対策



①食品ロス問題に積極的に取り組みます

- 災害用備蓄食材の定期利用による、備蓄食材の賞味期限切れ廃棄ゼロ
- クックチル・クックフリーズ食品の適宜利用による食品廃棄量削減

②地場産食材の利用

- 地産地消を意識した地場産の米や野菜の適宜利用（JA米の利用、自治会を通じた食品購入など）
- 法人所有のミツバチによる採蜜、販売

③ペットボトルキャップ回収によるワクチン支援を通じた途上国支援

- 毎月100kg以上のペットボトルキャップを洗浄、仕分けし、ワクチン支援へ
公益財団法人日本生命財団より顕彰団体に認定（ロイヤルコート寺田 ペットボトルキャップ隊）

④エネルギー消費の削減とエコ対策

- 不要な照明の消灯と法人施設のLED化の推進
- ペーパータオル使用量の削減運動、温水洗浄便座暖房の消費電力適正管理
- グループ内全施設のエアコン適正温度の推進
- エコマーク・グリーン購入法適合商品の購入促進とペーパーレス化

健康経営



①健康経営のための各種認定を取得

- プラチナくるみん（厚生労働省・岐阜県唯一）、えるぼし（厚生労働省）、トモニン（厚生労働省）、岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業（岐阜県）、ぎふし共育・女性活躍企業（岐阜市）

②ライフイベントに合わせた多様な働き方の実現

- 男性職員の育児休暇取得の推進
- 法人内保育所の設置、病児・病後児保育、学童保育の実施
- 入職から有給休暇付与までの間の特別休暇付与
- 育児休業後の勤務時間の変更や勤務地の異動希望などへの柔軟な対応

③生きがいと働きがいを持って活躍できる環境づくり

- 職員健診のフォローアップ、予防接種、医療費補助、禁煙促進
- メンタルヘルス研修の定期開催
- クラブ活動（野球、フットサル、ダンス、バドミントン、軽音楽、ラジコンなど）
- グループ内健康増進施設の開放

人材育成



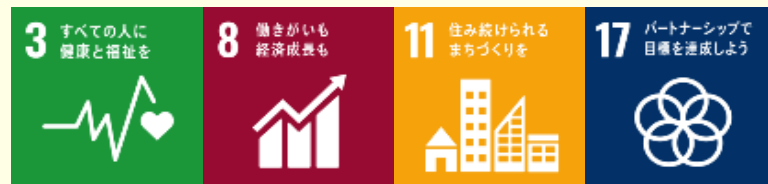
①教育・育成施設の運営

- 認定こども園、児童館、企業主導型保育施設の運営
- 和光会キャリアカレッジ、研修センターの運営

②キャリア支援

- 岐阜県介護人材育成事業者認定制度「グレード1」の認定取得（岐阜県）
- キャリア段位制度の導入（全職種）
- ICTの活用による業務効率化
- 若手職員の登用
- 資格取得支援制度
- 留学生の支援、技能実習生・特定技能の受け入れと育成
- 高度人材の雇用
- 障がい者雇用の促進
- 適材適所の人事配置と職務変更のチャレンジ支援
- 介護技術のアウトバウンド

地域貢献



①地域の健康意識・介護予防意識の向上を図る取り組み

- 地域に向けた介護予防教室や認知症予防教室、高齢者疑似体験、在宅医療フォーラム等を実施
- 生活習慣病やフレイル予防教室の開催による介護予防の啓発活動
- 地域で開催される高齢者のサロンへの職員派遣
- 北方町で開催している「ひなたぼっこくらぶ」による多世代交流や、岐阜市白山、領下、梅林、各地域での「地域ふれあいサロン」の実施

②地域の祭事の主催・参加や防災訓練などを通じた「まちづくり」への貢献

- 寺田ガーデン祭、白山夏祭り、寺田の夏祭り、祭りいこまい 中山道河渡宿等
- 自治体および連合会の防災訓練への参加

③ながら見守りの実施

- 地域の防犯意識を高める
- 未成年・高齢者の見守り活動の実施

④定期的な地域清掃の実施

⑤障がい者スポーツの支援

和光会グループ オリジナル冊子の発行

15 経済生活

第3種郵便物認可

支

阜

新

聞

2020年(令和2年)3月13日 金曜日



オリジナルの冊子を手し、SDGsをPRするプロジェクトチームのメンバーら＝岐阜市寺田、ロイヤルコート寺田

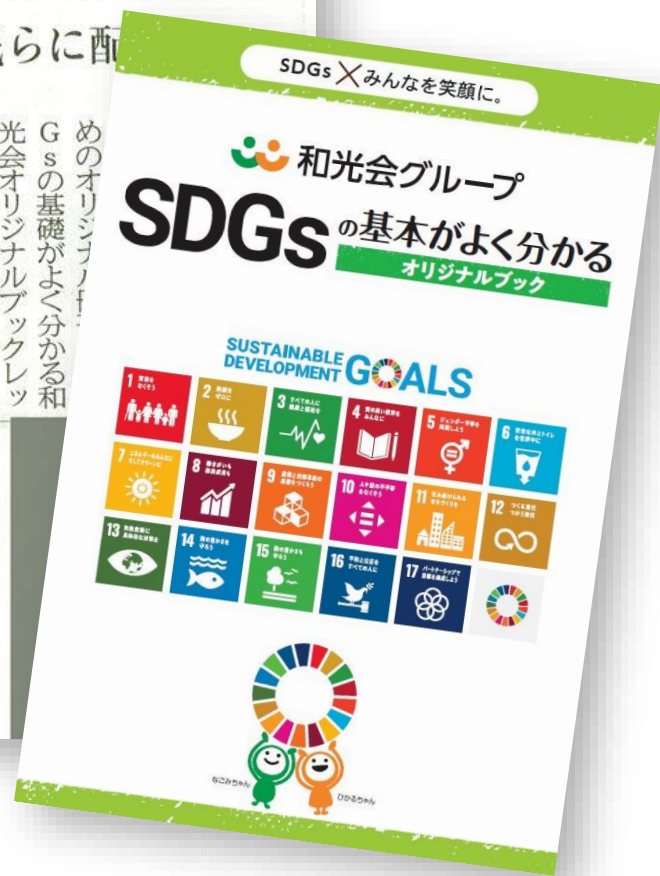
医療や福祉施設運営の和光会

「SDGs」紹介冊子作成

来月完成、住民らに配

めオリジナル冊子「SDGsの基礎がよく分かる和光会オリジナルブックレット」を作成している。冊子は4月に完成予定。3千冊を印刷し、職員や地域住民らに配布する。今年創業95周年の和光会グループでは、同グループの理念「みんなを笑顔に。」のもとに取り組んできた課題とSDGsの目標が重な

ることから、1月にSDGsプロジェクトチームを発足させた。チームには医師や看護師、保育士など25人が所属。分科会も設け、SDGsを学びながら、食品ロスの削減や介護サービスの向上、地域貢献など社会課題と結び付けて、目標達成に取り組んでいる。作成中の冊子はA5判、約80ページ。「医療・介護・福祉事業環境」「環境・資源対策」「健康経営」など5つのテーマに分けて同グループの取り組みを紹介するほか、イラストや写真をふんだんに取り入れ、分かりやすさにこだわっている。チーム事務局の安藤恵子さんは「手探りで始めたSDGsだが、今ではグループの多くの従業員が積極的に関わり、成果を上げている。利用者や地域の人々にも広げていきたい」と話した。(武藤直子)



今日から私もSDGs宣言!

～今すぐできることから始めよう～



緑化への取り組み

ナーシングケア寺田 石原さん



20年ほど前から山田病院やこども園などに飾る花を育ててきました。患者さんにも「この子(花)とっても可愛いね」と声を掛けてもらうこともあって、励みになります。ペコニアなどは冬越えをさせて毎年咲かせるようにして、大事に育てています。

ペーパーレス化

秘書広報課 鈴木さん・蛭田さん



私たちは、会議の資料をできるだけデータファイルで配信し、ペーパーレス化に努めています。定例の会議で使われる資料は非常に多く、データファイルで配信することにより毎月何千枚ものコピー用紙の使用を減らすことができます。

動きがいと健康づくり

野球部 渡邊さん

和光会軟式野球部は、グループ内の役職、職種、年齢もバラバラな職員で構成されていて、野球以外にも仕事や人生の悩みも相談できる場となっています。主な活動は毎年秋に開催される『岐阜県病院親善野球大会』に参加する事で、その為に毎月練習を行っています。



通訳として活躍

海外事業課 スアンさん

SDGsでは2030年のゴールに向けて、開発途上国に対する技術支援や経済発展を担う人づくりのための国際協力を謳っています。

私は和光会グループに在職している介護技能実習生と、支援している留学生たちの通訳・生活支援等を担当しています。私が和光会の職員として外国人たちを支えることで、海外への貢献にも繋がると考えています。



岐阜新聞より

今日から私もSDGs宣言!

～今すぐできることから始めよう～

SDGsを意識して暮らすことで、持続可能な未来に向かって、世界のひとと目標を共有することができます。17の目標のうち、あなたはいくつチャレンジしますか?

身近な人と一緒に取り組んでもいいですね!



【目標1】

NPOやNGOの団体に寄付や募金をすることで、食料支援や教育支援に貢献しよう。



【目標2】

食べきれないものは、早めに冷凍。食べ物やお金の無駄遣いを防ごう。



【目標3】

心身ともに健康であるために定期的に健診や人間ドックを受けよう。



【目標4】

学校に行けない子どもたちに、寄付を通して教材や文房具を送ろう。



【目標5】

家事を家族やパートナーと平等に分担しよう。



【目標6】

風呂水を散水や洗濯に再利用しよう。



【目標7】

テレビはつけっぱなしにせず、見ない時は電源を切ろう。



【目標8】

残業を減らし、休暇をきちんと取ろう。



【目標9】

家の中のインフラ(水や電気、インターネットなど)について子どもと一緒に考えよう。



【目標10】

いじめや差別をしない・させないようにしよう。



【目標11】

まちの清掃・防災活動などに参加しよう。



【目標12】

リサイクルやリユースを積極的に行おう。



【目標13】

自転車や徒歩で通勤・通学してCO2排出量を減らそう。



【目標14】

レジ袋やプラスチック製品を使わないようにしよう。



【目標15】

地産地消・旬産旬消を心がけよう。



【目標16】

平和に関するイベントに参加しよう。



【目標17】

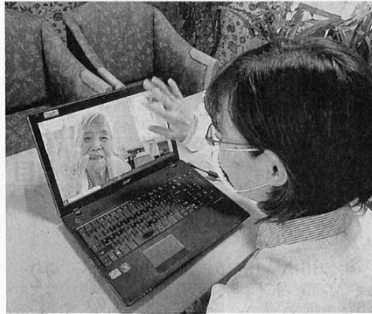
SDGs達成に向けた地域や職場の活動に参加しよう。

今後の取り組み

- 和光会グループの4大事業（医療・介護・福祉・子育て）の維持・発展に向けた取り組み
- 職員研修での継続的な啓発活動
- 広報誌やSNS等、オウンドメディアでの情報発信
- 地域の企業・団体とのコラボレーション
- 新たな取り組みの模索
（LGBTへの配慮、フェアトレード商品の導入、エネルギー対策など）
- 地域を巻き込んだSDGsイベントの開催

 **DECADE OF >>> ACTION** “行動の10年”

高齢者、家族とネット面会



画面越しに手を振り合う入居者とその家族
=北方町、ナーシングケア北方

和光会グループ(本部・岐阜市寺田)が運営する特別養護老人ホーム3施設でパソコンを利用したオンライン面会が行われ、寂しい思いをしている入居者の心を癒やしている。

3施設は現在、新型コロナウイルス感染症対策の一環として館内への来客や面会を禁止している。入居者が家族と顔を見て会話できるように、インターネット

電話アプリ「スカイプ」を使い、パソコン上でのオンライン面会を企画した。北方町のナーシングケア北方に入所する河合美智子さん(84)は、1カ月以上会えていなかった娘の國島洋子さん(58)と画面越しに面会。國島さんは「母は最初戸惑っていたが、手を振って喜んでくれて感動した。ぜひまた利用したい」と話した。(武藤直子)

オンライン面会



沖ノ橋認定こども園 わくわ



保育教諭が寒天を使った遊びを紹介している沖ノ橋認定こども園の動画

動画で子育て支援

親子で楽しむ手遊び、食育情報満載

認定こども園などが配信

新型コロナウイルスの影響で臨時休園が続く県内の保育園などでは、園児保護者向けに家でできる遊びなどを動画で紹介している。このうち岐阜市沖ノ橋町の沖ノ橋認定こども園では、今月から「わくわくムービー」と題し子育て支援動画を動画投稿サイト「YouTube」で配信しており、関係者以外も視聴できる。同園は4月11日から臨時休園し、現在は園児の約7割が登園を自粛。子どもの運動不足が懸念され、親にとっても自宅での長期間の育児は孤立感や閉塞感を深める恐れがあるため、動画を配信して気分転換してもら

うと保育教諭が制作した。工作や手遊び、親子でできる寒天を使った遊びなどを紹介する3本公開している。動画は看護師や管理栄養士も参加して情報発信する。

主任保育教諭の馬場佑真さん(39)は「園児に会えないのはつらいが、こんな時こそ、心の距離が遠ざからないようにしたい。今後の保育の質向上につなげたい」と話した。

他にも県内には無料の動画共有サービスを利用するなどして、絵本の読み聞かせや歌、工作などを紹介したり入形劇を演じたりする映像を園児向けに配信する園もある。(佐名妙子)

メニュー

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

8 働きがいも経済成長も